

あくな



10月

No.224

第3回定例市議会

災害公営住宅を建設

教育委任に喜多哲城氏

第三回定例市議会は、九月二十七日から開かれ、専決処分の承認二件、同意二件、不同意二件、議案十二件を可決し、委員会付託三件、請願一件は採択され、関係官庁に連達することになりました。



災害復旧を専決

市長が専決処分したのは緊急を要する十五号台風の災害復旧費（二千四五八万六千円）と、さる七月に行なわれた参議院議員の選挙関係の経費（六七万三千円）でした。

市長は、市の教育委員に任期満了があったので、大丸町一五〇番地の喜多哲城氏（五五歳）を任命。また、固定資産評価審査委員会の委員に、高松町一〇番地の的場一男氏を選任し、令議会に同意、求めたとて

ろ、議会はこれに同意しました。

災害者の市税減免
十五号台風により災害を受けたかたに対し、昭和四十年度分の市民税・固定資産税・国民健康保険税を減免しようとするものです。その内容は、
●本人が災害により死亡した場合、一〇割

●本人が不具者になった場合
●生活保護法の生活扶助を受けなければならなくなった場合、一〇割
そのほか、家庭、家財などの損害の程度に応じて、それぞれの市税が減免されることになっています。
なお、水道料問題、でん粉汚水問題、災害復旧資金に対する利子補給は、いづれも関係委員会に付託されることになりました。
また、旧軍人等の恩給処遇に関する請願も、採択となり、関係官庁に連達することになりました。

●商工費 一二十万円
特急停車祝賀会の経費と折口海水浴場水道引き込み事業費不足分などです。
●土木費 二千三六三万円
大川駅の入口付近と、臨本場坂の県道舗装工事費負担金、中津川橋工事費不足分、大川、赤瀬川両海岸保全事業費負担金、内田川災害関連事業費負担金。
災害公営住宅を三〇戸建設することになりましたので、その敷地購入費と、建設費。
●消防費 三〇万円
防火水桶一〇基分の補助金など。
●教育費 二〇四万円
小中学校の準保護児童給食費不足分、医療費不足分、教材理科備品代、折多小屋体健坪増加分と大川小校舎移転経費、牛深市との親善体育大会補助金。
●災害復旧費 一四六六万円
住宅災害復旧費の不足分、中山ほか三地区災害復旧事業費、阿久根小校舎の災害復旧費、大川小校舎の災害復旧費。

大川小は、十五号台風により傾むいていた校舎をとりこわし、鉄筋二階建一八〇坪の六教室を、来年の三月までには造くりあげようというものです。
このほか、水道特別会計に五六万円、と畜場特別会計に二八万円追加しました

大川小校舎を復旧

補正五千四二九万円

災害復旧費のうちおもなものは、応急仮設住宅（五四戸）の建設費五三九万円、住宅応急修理費（七三戸）一四六万円、松岡線ほか一七カ所の道路復旧工事費九五万円、公営住宅復旧工事費四五万円、学校災害復旧工事費二二六万円、単独学校災害復旧工事費五六万円、救護物資購入費一七五万円などです。

これは、失業対策事業の資料費不足分です。
●農林水産業費 一千万円
家畜市場建設補助金、高松川防災ダムの負担金。これらでダムの資料運搬道路六百メートルが、本年度中にできあがることになりました
阿久根港修築事業費負担金として四六八万円。これで本年度、新港南無防波堤が四〇メートル延長され、旧港の西側防波堤の取り付け口が改修され、倉津池もしゅんせつされる予定になっています。

●一般会計手算は、五千四二九万円が追加され、合計六億一千七四七万円となりました。そのおもな内容は
●総務費 九〇万円
市例規集追録代、タイプ購入費、有線放送補助金、松くい虫駆除薬剤代、自動車運転試験場信号灯修繕代
●民生費 四四万円
尻無児童館外構工事不足分、応急仮設住宅工事費、災害救助医療費。
●衛生費 三一万円
し尿処理委託料など。
●労働費 一〇二万円

市役所でも全職員が市内七カ所で、毎朝七時から八時までのラッシュ時に、街頭補導にあたりました。
今後、「交通安全の日」をきめ、交通補導することになりました

同日には、鹿屋から女子交通補導員のかたがたが応援にまいりました。そうして、その補導おりは、まことにすばらしく、これなら子ども達の登校も安心できると思われました。
尚市としても、交通安全協会にお願ひして女子交通補導員を採用してもらい、目下訓練中です。

表紙

交通補導

阿久根市内の交通事故が、最近急に増えています。
みなさまの目や耳にも、事故現場や事故のニュースが、ひんばんには入ると思えます。
市といいたしましてはなんとかして、この交通難から、みなさまがたをお護りしたいとして、街頭交通補導を始めました。
とくに、九月二十五日には、鹿屋から女子交通補導員のかたがたが応援にまいりました。そうして、その補導おりは、まことにすばらしく、これなら子ども達の登校も安心できると思われました。
尚市としても、交通安全協会にお願ひして女子交通補導員を採用してもらい、目下訓練中です。

復旧に最善の努力

市長の市政報告

市長は、今度の議会
で、本年度第二・四半
期の市政を、つぎのと
おり報告しました。

まず、去る八月の十五日
台風の災害復旧には、わた
くしとしましても最善の努
力をいたしました。

さいわいに、市民みなさ
まがたのご指導とご尽力に
よりまして、順調に復旧し
つつありますことを心から
感謝し、厚くお礼申しあげ
ます。

ただ今、ひとまず見舞金
と見舞品の配布を、一応全
部終わりました。

仮設住宅は、第一次分三
二戸を九月二十日に完成し
第二次分二二戸も本月末ま
では完成する予定です。

なお、応急修理について
も、七四戸を本月末までに
は終わります。

災害資金関係の申し込み
につきましては、担当課に
おいて、その手続きを進め
ております。

現在、自作農維持資金の
申し込み二二八件七千四七
万円、国民金融公庫八五件
四千四百万円、災害復興住
宅資金八七件三千二百万円



市政を報告する丹宗市長

農畜畜産資金四三件八三四
万円となっており、いづれ
も災害復旧資金として重要
なものですから、百パーセ
ントご希望にそえるよう、
さらに努力するつもりです

つきに、市民会館建設は
予定どおり進み、九月初旬
にはコンクリートの打込み
も終わりました。

本館大ホールともに、ス
チール窓枠、内部造作など
にかかり、全工程の六五パ
ーセントの出来高となつて
おります。

鶴川内児童館建設工事は
八月十二日工事契約がとと
のい、二八八万円をもって
ただ今工事中で、十一月末
までには完成の予定です。

し尿処理のことですが、
これは特別委員会等のご意
見を参考に、海洋投棄
の方法を採択、七月末から
運営を開始し、現在順調に
処理されているようです。

つきに市有林売却につい

てご説明いたします。

八月五日、大川炭釜市有
林三千三六〇立方メートル
一八万円、八月二十五日、
大島の風間木四八八立方
二二二万円、九月七日、坂
元市有林などの風間木三六
二立方メートル二二万円を売却
いたしました。

いづれも予想以上の高値
で売却でき、市民会館建設
など、市の財源に大きく貢
献したことは、感謝いたえ
ません。

水産関係の水産教室は、
今年から始めてのころみ
として、中学生を対象に、
夏休みを利用して始めまし
た。

ところが、希望者が多く
漁業後継者の育成にはもっ
てこいだととして
各方面から大い
へん好評を博し
たようでした。

公営住宅は、
猿の出園地に二
棟八戸と一棟四
戸を、大川園地
に二棟四戸をた
だ今建築中であ
り、いづれも十
二月十五日まで
には完成の予定
です。

つきに水道開
係ですが、大川
島・阿久根高校
阿久根農校の給
水工事はすでに

完了し、給水も始めており
ます。

さる七月と九月、二回に
わたり上京しました。七月
は市長会出席のためでした
が、同時に自治資金九次官
に對し、公有林整備事業起
債枠の拡大と、市民会館建
設資金起債の増額等を陳情
したさいでした。

市民会館は三百万円の起
債増が認められるなど、そ
のほかのことも、明るい方
に向っているようです。

九月の上京は、九州縦貫
道路の西側り実現方の陳情
でした。これと同時に、十
五号台風の特別交付税増額
と、職業安定所分室の出張
所昇格方を強く関係官庁に
陳情したさいでした。

このダルマさんは、中
國の神宗を開い
た、達磨大師の
ことです。

中国河南省の
小林寺という寺
で、九年間も壁
に向って座禅を
組んで修業して
いるうちに、手
も足もなくなつてしまつ
たという説からつくられ
た人形が、ダルマさんで
す。

ところが、この達磨大
師は、実は中国人ではな
く、印度人だったという
ことです。

しかも、バラモン種族
の王家の第三子だったと
いわれます。

出家して、禅の修業を
したのですが、その教え
がむづかすぎたため、中
印度人に理解されず、中

達磨大師

手も足もないダルマさ
ん。起きあがりこぼしの
ダルマさんは、運動会な
どでは子どもにかつがれ
どなたにも親しまれてい
ます。

そうして、願いがとが
かなったときには、片目
づつ目を入れられたりし
ています。

この二つの宗派は、鎌
倉時代の武士に信仰され
よるこぼれて、日本の武
士道の一つの根拠となつ
たのです。

同時に、日本文化の各
方面にも影響して、建物
庭園・絵・茶道などにあ
らわれました。

しかし、達磨大師の伝
記は、くわしくわかって
いません。

十月十五日は、そのな
くなられた日とされてい
ます。

（できあがった応急仮設住宅）



季節の話題



はやぶさ、阿久根駅に停車 大川駅も復線化



阿久根駅での花車贈呈
りかえしてきたものです。

わたくしどもが待ちに待った、特急はやぶさ号の阿久根駅停車が、十月一日から実現しました。
これは、さる五月から阿久根・飯島・長島・牛深などの関係市町村が「特急阿久根駅停車期成同盟会」をつくって、当局に陳情をく

りかえしてきたものです。これで、東京方面への旅行がさらに便利になり、都心との距離が縮まりました。これと同時に、さつま大川駅も復線化され、近代的な駅舎もできあがりしました。当日は、大川小学校の旗行列など、地区をあげてお

八日は、寒露にあたりこのころから本格的な秋にはいります。
■目の愛護 十日は目の愛護デーです。最近小中学生に、目のわるい子どもが増えて、関係者を心配させています。
その原因として、テレビがあげられているようです。画面のタテの長さの六倍から十倍の距離をおいて見る

こと(十四インチの場合は一メートル半から二メートル)と、真暗なところで見ないこと、長時間続けて見ないことなど、まわりの者がじゅう分注意してあげましょう。
また、この月の終わりに、読書週間も始まり、灯火親しむ好季節で、本を読むことも多く



祝いました。
阿久根駅の時刻表(急行)
〔上り〕 〔行先〕
●第一かいもん 博多 九時〇六分
●フェニックス 宮崎 一〇時一〇分
●はやぶさ 東京 一二時五七分
●さきりしま 東京 一四時二〇分
●さくらじま 大阪 一六時二五分(不定期)
●第二かいもん 博多 一九時一三分

ならず防虫剤を使用しますが、つぎの点にご注意ください。
防虫剤には、しょうのうとナフタリンのように石炭を原料とする二種類があります。
使用の場合、この両者をいっしょに使うと、お互に作用し合ってガスにならず水になってしまいます。もちろん、防虫効果もな

くなり、衣類に水がついてしみもできます。
■天高く馬こゆる秋 馬でなくても、この季節はなんでもおいしいとき、もりもり食べて、大いに栄養をやしなしましょう。
くだものでは、リンゴの紅玉が出回ります。かき、くりにつづいて、みかんも色づき、店頭にならんできます。

日本ほど、くだもののバラエティに富んだ国はないそうです。たくさんいただきます。魚類は、サンマがしゅんにはいります。するめいかもおいしく、おいしいなまざけも出回ります。
ともあれ、秋は、これから迎える寒さにたえる体力づくり、じゅう分な栄養をとる絶好季節です。



〔大川駅の祝賀会〕

●しろやま 大阪 二二時二九分
〔下り〕 〔行先〕
●はやと 鹿兒島 四時〇六分
●しろやま 西鹿兒島 七時四七分
●さくらじま 西鹿兒島 一二時二二分(不定期)
●第一かいもん 山川 一二時五八分
●さきりしま 鹿兒島 一三時四八分
●はやぶさ 西鹿兒島 一五時三九分
●フェニックス 西鹿兒島 一九時〇〇分
●第二かいもん 西鹿兒島 二一時〇〇分

このほか、阿久根駅にはとまりませんが、出水駅に停車する急行が、つぎのとおりあります。
●はやと 門司港 一時〇四分
●かもめ 京 都 八時五五分
●市役所内改良事務所職員 一同 一〇〇〇円

読書週間

十月二十七日から十一月九日まで、読書週間が始まります。
わたくしどもは健康を維持するために、毎日果物や野菜・肉類などをとりまます。これとまったく同じく、わたくしどもの情操を高めるには、見たり聞いたりしなければなりません。
その中でも読書は、これに最適なものですから本をポリポリ読みましょう。つぎのかたがたが、心に火をたく献本運動にご寄付くださいました。
●飯上セツ子 一〇〇〇円
●市役所内改良事務所職員 一同 一〇〇〇円



斜め横断は 天国への近道

国金の年末融資

今年も、はや第三四半期にはいりました。みなさまには、年末資金について、それぞれが計画のことと思えます。

市では、ただ今国民金融公庫の普通貸付けをあっせんにしています。

これは、商品の仕入れ資金、買付け金、手形の決済資金、店舗工場機械の新設増修修理改造などの資金として融資されます。

貸付け限度は、個人法人とも三百万円以内ですが、百万円以上は担保を必要とします。

ご希望のかたは、十一月十五日まで、市の商工水産課へお申し込みください。

子どもにマッチ 狂人に刃物

火災シーズンがやってきました。つぎのことにご注意ください。

◆子どもにマッチとどくとどろにマッチを置かないこと

子どもにマッチは、狂人に刃物と同じです。最近市内でも、落野・遠見岡・佐渡に、相續して子どものいたずらによる火災が起きています。

◆裸るときや外出するとき

火元を確かめてください
電熱器・アイロン・プロパンガスなどの電源やスイッチは切ること
カマドに火をもちやしながら、家の近くで作業中、火災を起した例も多いです。

◆タバコの吸ガラは、よく消してから捨てること

抽風機や異常乾燥のときは、吸がらからでも火事になります。とくに、寝タバコはやめましょう。

◆林野などの火入れは、かならず許可が必要です。

◆火災の通報は一一九番へ
火災を発見したら、すぐ

一一九番(消防署)へお知らせください。

消防署をよんでいる暇のないときは、「〇〇部落の△△方が火事」と、郵便局の交換にお知らせください。交換では、何をおいても、消防署に通報するようになっています。

毎月十五日は「防犯の日」

わたくしどもが防犯に関心をもち、それを実行する日として、昭和三十八年十月から、毎月十五日を「防犯の日」ときめて、実施してきました。そうして

この十月で、二周年を迎えることになりました。身近な盗犯の防止や青少年の健全育成などにアイデアをもち、それをわたくしたちの生活の中にかかして実行しようとするものですが、

したがって、この日は、みなさまのご家庭において

も、戸締りのこと、子どものことについてふりかえり

あなたのご家庭に合った「防犯の日」を実行してください。(阿久根警察署)

香典返し寄付

つぎのかたがたから、香典返しご寄付をいただきます。ありがとうございます。

◆弓木野の折橋金光さんは故アサギタさんの香典返しとして 三千元

◆高松町の郡山良光さんは故タキさんの香典返しとして 五万円

◆鵜本橋之浦西の赤木義衛さんは、故ミツさんの香典返しとして 一万円

市民運動会は中止

毎年、十一月の三日ごろ行なわれる市民大運動会は台風十五号などの災害復旧のため、今年は中止となりました。(阿久根市社会教育課)

お知らせ

一家の明るい



お年玉援護物資

郵政省から、台風十五号による災害者に、援護物資がとどきました。これはお年玉はがきによる全国民のあたたかい志しによるもので、ポリバケツ等が配給されました。



お墓の掃除

丸内と陳之尾部落の婦人会では、毎月十五日の朝、6時から、お墓の掃除をしています。部落を開いてくれた祖先の霊に少しでも感謝しようというものです。

農業大学

9月の16、17日の両日、大丸公民館で農業大学が開かれました。本山、佐久間俊の各講師により、果樹、畜産、農家経済などの講義がありました。



農業ダイヤル

果振法地域指定を

果樹を選らぶには

農業構造改善事業で果樹を選らぶには果樹農業振興特別措置法により、地域の指定を受けなければなりません。今月はこの果振法について説明いたします。

目的

この法律は、昭和三十六年三月につくられ、昭和四十一年三月末までの時限立法で、この期間内に農林省の認定を受けなければなりません。

ちかごろ果樹農業は急速な発展を示しています。ですから、この法律は、将来の果樹農業の健全な発展をはかるために、出荷や加工等の改善合理化にとともに、果実生産の安定的拡大

を目標にしたものです。

それには、栽培適地に合理的な果樹園を経営させ、果実の長期的需給の動向に即応した適正な果樹の植栽と果実の生産をさせようとするものです。

そうして、認定されてから五年後に、植栽面積が一〇ヘクタール以上で、二戸以上のかたが共同して経営することが条件です。

この指定を受けなければ構造改善事業で、果樹園の造成改良や近代化施設等の事業に対し、国庫の補助は

もちろん、国の制度資金なども、借入れれることにはできません。

対象果樹

かんきつ類の各果樹・りんご・おどろ・もも・おうとう・びわ・かき・くり以上は全国的なものです。

鹿児島県で果樹に指定されているものは、温州みかん・甘夏かん・ぼんたん・びわなどです。

今は準備期間

今年の五月、当市は準備地域として知事の指定を受けています。

これは、「どこに」「何を」「どれくらい」「どのような方法で」するかなどを決めるための基礎調査をしたり、事業内容を一般によく知ってもらえるよう

にする準備期間でもありません。

この期間に農家経営の実態をよく知るために、いろいろな側面な調査を、みなさまがたにお願ひすることになります。

これは、すべて現況を基礎にして、将来の計画が樹立されるのです。

建物でも、基礎がよくなければ、その建物は倒れます。

ですから、構造改善事業の基礎となるこの調査には自分のものに考えて、ご協力ください。

四十二年から実施

当市としては、四十一年度から計画地域指定を受け、四十二年度から事業実施となる予定のもとに、業務を進めております。

そのために、本県では始

めてといわれる大学教授や専門家に由る農業コンサルタント(農業診断)も行ない、阿久根市の実情に合った近代農業経営を目指して構造改善にとりくんでいきます。

民有林は開発可能

事業を具体的に進めるには、かんきつ園として開発できる土地が、どこにどれくらいあるかを調らべる必要があります。

その点、国有林野も活用できることになっていきます。しかし、市内にある国有林野や市有林野は、急峻なところが多く、一部を除いて適地は少ないようです。

民有林は、今までの調査のところ、まだまだ樹園地として開発できるところが多く、適地も多いように思われます。



部落を樹園地化

松カ根の安岡さん

安岡 栄さん(34歳)は、松カ根部落のみかんづくりのリーダーです。3年前に植えた樹に始めてなつたみかんを手に奥さんの千津子さんとその喜びを味わいながら、つぎのように語ってくれました。安岡さんも、昭和27年みかんづくりにふみきるまでには相当悩まれたそうです。「農業の曲り角」とか「構造改善」と、農談会など話しを聞いてもピンとこず、他人ごととしか思いませんでした。

しかし、努力を少なくして面積をこなすには、みかんがもっともよいのではなからうかと気づきました。

それから、みかんづくりは自分一人だけではできない、どうしても家族の協力が必要だとして、家族会議を開きました。最初は奥さんさえも「うん」と言ってくれません。それでとは、桐野の野畑直義さん、深田の松木薫さんなどの先輩をたずね、なっとくのゆくまで検討した安岡さんの熱意は、ついに家族を動かしたのです。

ところが、部落でも一番よい畑にみかんを植えたので、最初は部落の人も遠くから奇異の目で見るばかりでした。

しかし、安岡さんの情熱は部落の人の心も動かし、今では、部落をあげてみかんづくりにはげんでいます。

安岡さんのご家族は、奥さんと子どもさん2人、お母さんの5人ですが、田6反、普通畑4反、みかん園8反、生産豚2頭、肉豚2頭、牛2頭もかっています。

平均寿命

わたくしどもの平均寿命は、まだまだのびています。

厚生省の発表では、昭和二十九年年度の平均寿命を、

男 六七・六七歳
女 七二・八七歳

と発表しています。

明治の中期は、男四二歳・女四四歳。大正末期で、男四四歳・女四六歳。昭和二十年には、実に、男二〇歳、女三七歳だっ

たそうです。



おくやみ(八月分)

- 鴨川長太郎 山下マム
- 栗谷 翠 瀬山山口高生
- 嶋 ワカエ 折口チヨ子
- 林田 清 大川サチ子
- 押之田与次郎 大川キヨ
- 追田 一徳 本町 栄
- 上野 一吉 栄町 ハヤシ
- 奥津ヒカマツ 本町 宗七
- 折橋アサキ 山下 金光
- 寺地イセマツ 大川 松水鶴蔵
- 倉津園馬 波 留ササノ
- 氏無根ユキ 本町 実人
- 八橋左衛門 四 日 栄吉
- 細川 キト 52 赤ヶ川 香甲義道
- 郡山 タキ 52 高 松良 光
- 大野 宗右衛門 加藤 本 ハツチク
- 丸瀬 シズ 昭 本 清
- 園田 喜六 昭 本 戸石衛門
- 八郎 喜之助 昭 本 オソメ